

半導体エンジンによるコンピュータの再発明

従来型 情報探しエンジンの例			半導体 エンジン
数値	探す	PostgreやSQL などの検索エンジン	DBP XOP
文字	探す	Googleや文書 などの検索エンジン	TSP
画像 音声	探す 当てる	CNN ViT Yolo などの認識エンジン	SOP

現在、情報の検索や認識（情報探し）システムのエンジン（心臓部）は、対象となるシステム毎にプログラムを作成（組み立て）する以外に方法はありません。

また検索や認識対象の情報（データ）が揃っていないとプログラム（組み立て）する事が出来ません。

これらの制約条件により、検索システムや認識システムは高価で利用範囲が限定されています。

従来方式検索 & AIエンジン
システム毎の組み立て式エンジン
情報と一緒にエンジン組み立て



常にインデックスや学習問題が内在

情報処理
の近代化

メモリズム方式検索 & AIエンジン
4種類の半導体標準化エンジン



プログラム不要
小型・高性能
即納・即動
省電力
すっきり
手間いらず

メモリズムプロセッサは半導体による検索や認識半導体エンジン（組み立て不要）で、燃料のようにメモリズムプロセッサに情報（データ）を入れる（記憶させる）だけ、直ぐに検索や認識が可能になります。

検索処理のインデックスや認識処理の学習等の前処理が不要になるので、従来方式のエンジンに比較しシステム開発の期間、費用、電力が大幅に削減、性能が向上し、外部への情報の開示を避ける事が可能になります。

4つのメモリズムプロセッサで、常用される情報の検索や認識の70%（推定）を標準化可能です。

コンピュータが「情報を処理する装置」から「価値ある情報を提供する装置」に進化